

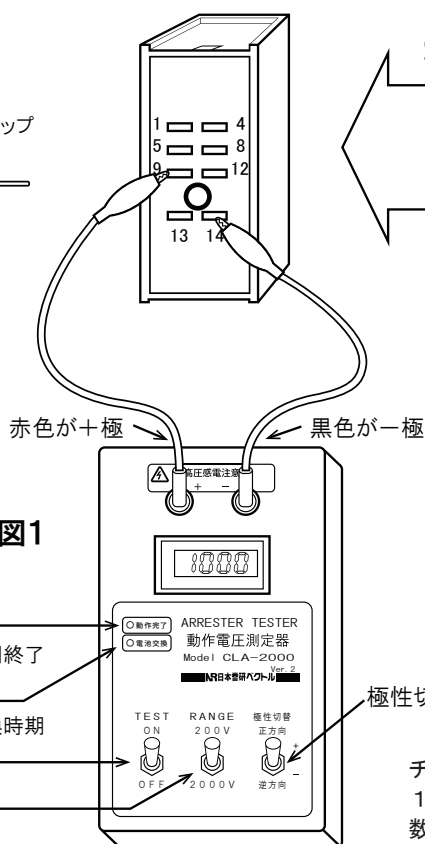
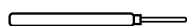
避雷器本体内部素子のチェック方法は動作開始電圧（素子に1mAを流したときの電圧）を測定して判断します。

## ●端子配列と結線図

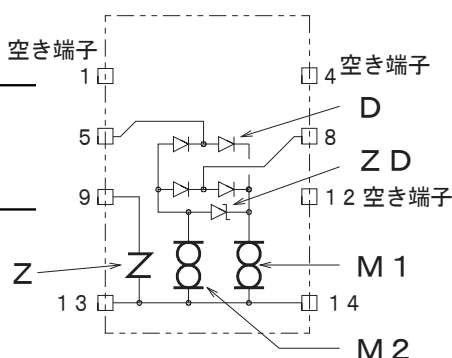
### 本体部

#### ピン側の図

テストピン又はクリップにて行って下さい

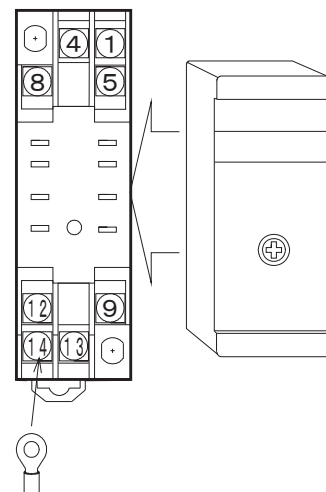


#### ピン側よりの図



M：モリブデン吸収素子  
ZD：シリコン吸収素子  
Z (ZnO)：酸化亜鉛吸収素子  
D：高耐圧ダイオード

#### 仮のソケットを使用する場合



全端子に予め圧着端子を付けておきチェック端子とする

チェッカー CLA-2000は、1mAの電流制限付きです。  
1mAを超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。  
数値はTESTスイッチをOFFにするまで表示します。

## ●素子の良否判定方法

- ① 電圧計と絶縁計を使用、図1のように接続します。
- ② 測定する素子（ZやZD）の動作電圧に合わせて印加電圧レンジ（RANGE）を切り換えてください。
- ③ TESTスイッチをONに投入してください。
- ④ 指示値が下表の範囲外の場合は、劣化（不良）と判定します。

<NRR-2E避雷器>

測定端子と素子	正方向印加端子番号 (+ -)	逆方向印加端子番号 (- +)	印加電圧 (レンジ)	確認内容
I シリコン素子 ZD	8-5	8-5	DC200V	75~91V DC 範囲内であること
II モリブデン素子 M1, M2	8-14	8-14	DC2000V	350~850V DC 範囲内であること
III 酸化亜鉛素子 Z	9-14	-	DC2000V	135~165V DC 範囲内であること

Iで5-8間のチェックをおこないます。  
IIは正方向印加でM1を、逆方向印加でM2をチェックします。  
IIIはシールド端用の素子をチェックします

## ●注意事項

- ① 感電にご注意ください。  
TESTスイッチONにしているとき、出力の電極を素手で触れないでください。
- ② 新品交換待ちの場合  
劣化であっても信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻してください。交換までの雷サージ対策となります。